

会 議 録

会 議 名	第 5 8 回野田市市民活動支援センター運営協議会
議題及び議題毎の 公開又は非公開の別	1 議案 (1)野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について（公開） (2)市制施行 7 5 周年記念市民アイデア事業の第 2 回審査について（公開） 2 報告事項 (1)令和 7 年度市民活動支援センターの登録状況（令和 7 年 7 月 1 日現在）について（公開） (2)令和 7 年度市民活動支援センターの利用状況（令和 7 年 4 月～6 月）について（公開） (3)第 1 回団体交流会の開催について（公開） (4)学習会（助成金）の開催結果について（公開） (5)令和 6 年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について（公開） (6)「市制施行 7 5 周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル 2 0 2 5」第 8 回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について（公開）
日 時	令和 7 年 7 月 3 0 日（水）午後 2 時から午後 3 時 4 5 分まで
場 所	野田市役所 2 階 中会議室 1 . 2
出席者氏名	会 長 立山 喜弘 副 会 長 北倉 恵美子 委 員 岩井 勝治、加藤 眞智子、名代 ちよ子、 渡邊 勝男、矢作 勝美 事務局 市民生活課長 須賀 良平 市民生活課長補佐 岡田 敦子 市民生活課コミュニティ係長 鈴木 智子

	市民生活課コミュニティ係主任主事 田部井 紘美 市民活動支援センター長 皆川 賢一 支援補助員 向佐 美知子 主任コーディネーター 釜田 正雄 コーディネーター 荒井 ハツヨ コーディネーター 藤野 孝子 コーディネーター 武原 忠志
欠席委員氏名	芝田 栄太郎、辻 朝子、神山 憲次郎
傍聴者	無し
議 事	第58回野田市市民活動支援センター運営協議会の会議の概要は、次のとおりである。
1 開会 事務局から開会を宣言。 会議の成立について報告。 会議録作成のため、録音をすることについて了解を得た。 2 市民生活課長挨拶 須賀市民生活課長挨拶 3 議事 議案(1) 野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について 議長（立山会長） 議案(1)について説明を求めた 須賀課長 議案(1)「野田市市民活動団体支援補助金審査会委員の推薦について」を説明した。 議長（立山会長） 議案(1)について、委員に意見を求めた。 <意見なし> 議長（立山会長） 補助金審査会の委員に、神山委員と矢作委員を推薦することよろしいか。 議長（立山会長）	

意見がないようなので、議案(1)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(1)については以上のとおりとする。

議案(2) 「市制施行75周年記念市民アイデア事業の第2回審査について」

議長（立山会長）

議案(2)について説明を求めた

須賀課長

議案(2)「市制施行75周年記念市民アイデア事業の第2回審査について」を説明した。

議長（立山会長）

議案(2)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

前回の協議会で承認した事業は何件あったか。

鈴木係長

3件である。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、議案(2)について承認いただけるか。

<異議無し>

議長（立山会長）

異議なしとのことなので、議案(2)のとおりにする。

報告事項(1) 令和7年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年4月～6月）について

議長（立山会長）

報告事項(1)について、説明を求めた。

向佐支援補助員

令和7年度市民活動支援センターの登録状況（令和7年4月～6月）について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(1)について、委員に意見を求めた。

渡邊委員

登録団体数について、増加傾向であったものが令和7年7月に減となってい

る理由は何か。

向佐支援補助員

退会したのではなく、更新登録がされていない団体が多くあることによるものである。

議長（立山会長）

新規に生涯大学校東葛飾学園とあるが、会員は何名か。また、どのような活動をしているのか。

向佐支援補助員

会員は154名である。活動としては日帰り旅行や、そば打ちやグランドゴルフ等のサークル活動、通信紙の発行等を行っている。

岩井委員

基本的にはボランティア養成である。

議長（立山会長）

登録団体数について、今後増加する可能性はあるのか。

向佐支援補助員

7月2日以降に5団体の新規登録がされている。次回の当協議会において報告する予定である。

名代委員

資料における登録団体数の記載方法について、既存団体の総数及び内訳として更新登録済み・未済の別を記載した方がわかりやすいのではないか。

向佐支援補助員

検討する。

北倉委員

新規登録団体のうち関宿日本語教室とあるが、大人も子どもも対象としているのか。その場合同じ教室で一緒に教えるのか。

向佐支援補助員

関宿日本語教室は国際交流協会から派生したものであり、主な対象は大人となっているが、必要に応じ子どもにも教えている。内容としては日常会話から日本語検定受検レベルまでを教えている。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(1)については、以上とする。

報告事項(2) 令和7年度市民活動支援センターの利用状況（令和7年4月～6月）について（公開）

議長（立山会長）

報告事項(2)について、説明を求めた。

藤野コーディネーター

令和7年度市民活動支援センターの利用状況（令和7年4月～6月）について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(2)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

先日、イオンノア店内会議室を利用したが、壁に雨漏りの痕などがあり老朽化が目立った。エアコンの効きはよいが音が大きく、声が聞き取りにくいと感じた。

須賀市民生活課長

イオンノア店内会議室については、イオンより賃貸しているものであり、自由に修繕や改修することができない。老朽化は否めないため、更新時にイオンの担当者へ申し伝えることを検討するが、修繕等は難しいと考える。

議長（立山会長）

総合福祉会館についても、空調の効かない等の理由で使用できない部屋があるが、その場合、市民活動支援センターのフリースペースを利用してもよいのか。

釜田主任コーディネーター

フリースペースの利用は増加傾向にある。また、ロビー等で打合せをしている団体には、フリースペースを利用するよう促している。

議長（立山会長）

来年度内には、空調の故障は改善されるのか。

須賀市民生活課長

市全体の公共施設管理については公共施設管理課において行っており、どのような改修計画となっているかは現時点ではお答えしかねる。

加藤委員

自身が加入している朗読グループあいの会で、勤労青少年ホームを利用して

いるが、夏は暑く冬は寒い。いつ頃修繕が行われるのか。

特に、録音室内の録音ボックスのエアコンが故障しており、活動に支障が出ている。

須賀市民生活課長

どのような改修計画となっているかは現時点ではお答えしかねるが、所管である教育委員会に申し伝える。

渡邊委員

相談件数の内訳として⑬市民活動参加希望という項目があるが、どのような方が参加を希望したのか、また実際に活動に参加したのか。

釜田主任コーディネーター

団体の紹介を行ったが、詳細については把握していない。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(2)については、以上とする。

報告事項(3) 第1回団体交流会の開催について（公開）

議長（立山会長）

報告事項(3)について、説明を求めた。

武原コーディネーター

第1回団体交流会について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(3)について、委員に意見を求めた。

岩井委員

高齢者などには大変喜んでいただける事業だと思う。

北倉委員

この事業は、フラダンスやよさこい、生け花などの団体が児童施設や福祉施設に出向き、皆で楽しい時間を過ごすという、いわば訪問ボランティアという解釈でよろしいか。

武原コーディネーター

そのとおりである。

加藤委員

以前、元公民館長が中心となり、団体同士の交流を行ったときがあった。私たちも参加したが、高齢者施設においては10分から15分程度で披露した方が高

齢者にとっては参加しやすいと感じた。笑顔あふれる交流をすることができたが、団体をまとめる人がいたからこそなしたものであり、団体同士、また団体と施設をつなぐような人材を育成した方がよいのではないか。

武原コーディネーター

正にそのような環境を醸成していこうと考えている。そのためにも、まず各団体がどんなことをしていて、どのような方々、どのような訪問施設があるのかなどを知って理解していただくことを目的としている。

岩井委員

実施後に、受入れ施設などから実施状況を聞いてみてはどうか。

議長（立山会長）

実際に施設などに訪問する場合、申請団体が中心となって実施するのか。

武原コーディネーター

そのとおりである。

名代委員

団体交流会時に、受入れ側の要望を説明してほしい。時間帯や実施時間などがわかっていると、参加団体もわかりやすいと思う。

議長（立山会長）

複数団体が施設訪問し、何かを披露するということによいのか。

武原コーディネーター

今回の団体交流会においては、そういった内容ではない。いわゆる訪問型のボランティア団体が集まって意見交換を行い、問題点などを意見交換するものである。

議長（立山会長）

団体が活動する中で、交流ではなく発表会のような一方的な活動になることも懸念される。実施に当たっては十分に相談して進めてほしい。

加藤委員

共同で活動するというのは、一緒に行って活動するということか。

武原コーディネーター

そのとおりである。

みなさんで考えながら、一緒に作り上げていこうということである。

渡邊委員

施設訪問に限定すると、先方に出向いて活動する団体に限定されるというこ

とか。当事業は登録団体すべてに周知するか。

武原コーディネーター

施設訪問している団体や、外部への訪問に対して質問をしてきた団体に向けて声をかけている。

渡邊委員

市民活動全般ということでよいのか。

武原コーディネーター

現在、そのような活動している団体と、活動を検討している団体を含めるということである。

議長（立山会長）

活動する上で、団体同士のつながりは大事なことから、施設に単独で訪問して発表するだけの活動にならないよう協力していくことはよいと思う。

岩井委員

受け入れる側も訪問する側も、お互いに掘り起こして調整していくことは非常によいことだと思う。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(3)については、以上とする。

報告事項(4) 学習会（助成金）の開催結果について（公開）

議長（立山会長）

報告事項(4)について、説明を求めた。

荒井コーディネーター

学習会（助成金）の開催結果について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(4)について、委員に意見を求めた。

北倉委員

以前、実施後のアンケートを公表してほしいと要望したが、今回公表していただき感謝する。

子どもゆめ基金に2団体が採用されたとのことだが、実施後の報告についてサポートをしてあげてほしい。

議長（立山会長）

日本郵便の助成金について、4団体が申請中とあるが、採用される団体数は

決まっているのか。

荒井コーディネーター

説明を聞いた団体のうち、数団体から申請希望がある。過去2団体が採用されており、1団体は施設改修のため500万円近い額を受けている。もう1団体は比較的少額であったが、助成金には一般コース・チャレンジコースがあり、チャレンジコースの場合は上限50万円だが継続して4年助成を受けることができる。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(4)については、以上とする。

報告事項(5) 令和6年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について（公開）

議長（立山会長）

報告事項(5)について、説明を求めた。

皆川センター長

令和6年度野田市市民活動団体支援補助金取組事例集について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(5)について、委員に意見を求めた。

議長（立山会長）

今までの経緯も掲載されていて、よく整理されている。非常に参考になる。

岩井委員

私も審査員として立ち会った経験があるが、書類について意見を申し上げる。予算決算について、もう少し定義をしっかりとの方がいいように感じる。対象経費となるものだけを予算計上している団体があったような気がするので、団体が全体的にどんな活動をしていて、補助金が必要だから申請したというのがわかるものが望ましい。補助金の要件に定款や規約を定めていることは当然であるが、補助金の受入れについてどう書かれているかもしっかり確認した方がいいと思われる。

なお、これは意見なので回答は不要である。

議長（立山会長）

申請の中には、これで補助金が支給されるのか心配になるものもあった。活

動が予定どおり行われているのか。また、活動状況については書類どおりできているのか。

皆川センター長

活動状況については、主任コーディネーターをとおり例年7月8月頃に状況報告の提出をさせている。その中で活動状況を確認し、変更などがあった場合は必ず相談するよう説明している。

議長（立山会長）

フォローしているのならばよいと思う。

加藤委員

助成金が支給されるとしても、もし助成金が支給されなかった場合にどうやって活動していくか、この助成金に値するだけのものをどう工面するのかという努力が、審査時につかむことができなかった。助成金ありきではなく、まず団体でどう財政面を工夫していくか聞きたいと感じた。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(5)については、以上とする。

報告事項(6) 「市制施行75周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル2025」第8回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について（公開）

議長（立山会長）

報告事項(6)について、説明を求めた。

釜田主任コーディネーター

「市制施行75周年記念事業 のだ市民活動ふれあいフェスティバル2025」第8回市民活動元気アップふえすたの進捗状況について、を説明した。

議長（立山会長）

報告事項(6)について、委員に意見を求めた。

名代委員

3点お伺いしたい。

ひとつは、前回まで時計の広場で行われていた踊りが、保健センター前駐車場に移動するとのことだが、動線が途切れないか。

また、スタンプラリーの参加賞が抽選となっているが、トイレトペーパーも水も不要なので、黒酢米と黒酢米せんべいだけでいいと思う。

最後に、事前チラシにおいて詳細はQRコードでの案内となっているが、QRを読み込めばすぐに紹介ページへ遷移するのか。

釜田主任コーディネーター

一点目、踊りの会場変更については、参加団体より時計の広場では手狭との意見があったことから保健センター前駐車場に移動したもの。駐車場を舞台、柵で隔てた歩道側を見学スペースとしたいと考えている。

全体像を、昨年と同様に会場と会場を販売ブースで繋いでいくように考えている。踊りの会場も市役所や勤労青少年ホーム付近で行うより、保健センター前のほうがより一体感が保たれると考える。

スタンプラリーの参加賞については、「集客」「楽しんでもらう」の二つを目的としている。今回は市制施行75周年ということで、集客力を強めるという考えから、お金をかけずに例年のスタンプラリーよりアピールできることを検討した結果、会場内9箇所でスタンプを集めアンケートに回答すると、もちろん300名にチーバ君グッズ、トイレットペーパー1個、野田市のおいしい水をプレゼントする。さらに抽選220名に黒酢米2合または黒酢米せんべいをプレゼントするというものである。事務局としては、全会場に行っていただくことを目的に、先着ではなく抽選という方法を選んだ。

最後に、QRコードについて、これから具体的に協議していくが、どの会場で何を、何時からというようなことがわかるようなサイトを作成していきたい。

議長（立山会長）

スタンプラリーの参加賞で、市の特産品が含まれていることは素晴らしい。市制施行75周年なので、企業などを含めて一緒にできるようであればいいと思っていたが、このような内容になってとてもよいと感じる。

チラシに「ちば県民活動PR月間2025賛同行事」と記載しているが、これは何か。

釜田主任コーディネーター

チラシにおいて、第8回市民活動元気アップふえすた下部に（ちば県民活動PR月間2025賛同行事）と記載しているが、この事業に賛同することを申請すると、チーバ君グッズなどが千葉県より支給されるというものである。

名代委員

子どもには会場が見えにくいので、バルーンなどを利用できないか。赤いバルーンは踊りの会場、黄色は人権シアターというように、わかりやすく工夫し

てほしい。

釜田主任コーディネーター

市民活動元気アップふえすたののぼり旗で誘導する予定である。今後検討する。

議長（立山会長）

以前、大ホールで発表会を行った際、参加団体の会員が所属する団体の発表が終わると引き上げてしまった。今回はそのようなことがないように工夫されているか。

釜田主任コーディネーター

今回、市制施行75周年ということで、開会式を野田ガスホール大ホールで行う。参加団体にも声掛けし、開会式は9時15分から、発表は10時からとしており、よさこいやエイサーの団体など6団体から申し込みがされている。

発表が終わったら帰るのではなく、できれば開会式から参加していただき、最後の団体の発表が終わるまでお互いの演舞を鑑賞するように案内している。参加団体打ち合わせにおいても説明しており、開会式から盛り上げていきたいと考えている。

議長（立山会長）

よいことだと思う。

議長（立山会長）

ほかに意見がないようなので、報告事項(6)については、以上とする。

須賀市民生活課長

8月1日付け人事異動が発令され、皆川センター長が異動となった。センター長の職務は市民生活部長が引き継ぐこととなる。

皆川センター長

異動にあたり、あいさつをした。

鈴木係長

次回の市民活動支援センター運営協議会の日程について、令和7年10月28日を予定している。

議長（立山会長）

会議の閉会を宣言した。